



Leaf

平成19年6月
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 沼里 進

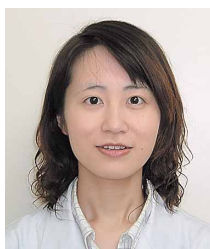
盛岡赤十字病院医療連携だより No.12

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。

盛岡赤十字病院NSTの紹介

NST専門療法士
管理栄養士 鈴木 聖子



当院では、2006年4月より旭副院長を中心にNST活動を開始し、2007年2月には、日本静脈経腸栄養学会認定「NST稼働施設認定」を取得しております。

NSTとはNutrition Support Teamの略で、栄養サポートチームのことをいいます。栄養管理は全ての疾患治療の上で共通する基本的治療の一つであり、おろそかにすると如何なる治療法も効力を失ってしまうといわれています。この栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施することをNutrition Support（栄養サポート）といい、この栄養サポートを職種の壁を越えて実践する集団（チーム）をNSTといいます。NSTは1970年代初頭、中心静脈栄養法の適応判定と適正実施を目的としてポスطنで誕生し、施設内の栄養管理をNSTが一手に担い、活動していました。欧米のNSTが専属チームであったため、日本ではその普及は拒まれましたが、1998年、現状に即した全く新しいチーム医療の運営システムとして、少しずつ各部署から知恵・力を持ち寄ってチーム医療を運営する兼業兼務システムPotluck Party Method（PPM：持ち寄りパーティ方式）が考案され、これを契機に全国の医療施設へ拡大しました。



NST勉強会



月1回発行の「NSTだより」



2007年度NSTスタッフ

NSTの効果は、カテーテル敗血症の激減、院内感染の減少、中心静脈栄養の減少と経口・経腸栄養の増加などがあり、それらに関わる経済効果なども多く挙げられています。県内でも昨年までは数名のNST専門療法士、数箇所の稼働施設しかありませんでしたが、今年から十数名の様々な職種の専門療法士が存在し、また、12の施設が現在、稼働認定となっており、岩手県でも栄養サポートをチームで行う動きが広がっています。

現在の当院NSTは、医師、看護師、保健師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、調理師、事務員の31名で構成されており、活動は月1回の委員会と勉強会を開催、臨床ではスクリーニングで挙げた症例、担当医から依頼された症例に、週1回ラウンドを行っています。介入患者の退院後の栄養管理にも対応しています。また、NSTの周知、啓蒙を目的に、毎月「NSTだより」を発行しています。2007年3月までに113回のラウンドを行い、29症例（男16、女13例、平均75.5歳）に介入しました。身長・体重の実測不可能な症例に対しては、膝高（KH）、上腕周囲長（AC）、上腕三頭筋皮下脂肪厚（TSF）から推定し、栄養必要量を算出しています。依頼内容は食思不振、栄養アセスメント、摂食嚥下障害の順で多く、介入後は前に比べ食事摂取量の増加傾向がみられ、副食摂取量は5.2割から7.3割と有意に増加しました。平均在院日数、材料使用料においても減少傾向がみられました。

今年度はNSTの中にワーキングチームも作り、昨年度比較的依頼が多かった摂食嚥下障害に取り組んでいます。また、最近では、近隣の施設から、転入・転出に伴う栄養管理に関する問い合わせが多くなっており、栄養管理の在宅・転院支援を今年度からNSTスタッフとなった保健師、管理栄養士を中心に活動を始めております。

個々に適切な栄養管理を実施するには、関連する多職種の共同作業によるNSTのようなチーム医療が必須であり、施設内だけにとどまらず地域全体でネットワークを構成し、いわゆる医療連携だけでなく、栄養療法の連携、つまり「地域一体型のNST」を確立することが望まれます。病院はもちろんのこと、施設にいても、自宅にいても良い栄養管理ができるような栄養サポートを実践していきたいと思っております。栄養に関するご相談はいつでも受け付けております。医療技術部栄養課あるいはNSTスタッフにご連絡いただければ幸いです。

今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。



新任医師の自己紹介コーナー



昨冬以降に就任した医師です



脳神経外科
副部長

湯川 宏 胤

本年1月より盛岡赤十字病院脳神経外科に勤務しております。平成11年に岩手医科大学脳神経外科に入局し、数々の関連病院を経て参りました。いつまでお世話になれるかわかりませんが、当院で大いに研鑽を積み、脳神経外科医として飛躍の年となるよう努力したいと思います。またいつまでも下端気分でしたが、医師になり9年目に突入しました。色々な意味で自覚を強く持ち診療に取り組みたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願いします。



麻酔科
副部長

瀬川 裕

内科医ですが事情があって昨年12月から麻酔科医として働いています。麻酔科領域でも薬剤の進歩に著しいものがあります。最近使用可能になったアルチバは臨床麻酔の革命的存在になると思います。一度使用した方はその薬効に魅せられて、アルチバを選択してゆくものと思います。現在このアルチバの素晴らしさを堪能していますが、一方で術後鎮痛の難しさを実感しています。麻酔科医としての任期が終わりしだい内科医に戻ります。

院内外の先生がた、今後ともよろしくお願い申しあげます。



呼吸器科
副部長

高橋 進

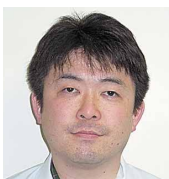
平成8年岩手医科大学卒、平成12年に睡眠時無呼吸症候群に関する研究で学位を取得し、平成14年4月から1年間、国立療養所（現国立病院機構）東京病院で結核を中心とした呼吸器感染症の研修をしました。呼吸管理、睡眠医学、呼吸器感染症などの分野で地域に貢献できればと考えています。在宅酸素や在宅人工呼吸など、在宅医療の充実を目標として診療に取り組みたいと思っています。諸先生方のご指導よろしくお願いします。



消化器科
副部長

高木 亮

平成19年4月より消化器科に勤務しております。平成12年に岩手医大を卒業後、仙北組合総合病院、岩手医大第一内科、八戸赤十字病院、秋田赤十字病院等の勤務を経て、現在に至っております。ご迷惑をおかけすることと思いますが、ご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



循環器科
副部長

高橋 保

平成19年4月から、循環器科に勤務しています。出身地は八幡平市（旧西根町）です。以前勤務しておりました釜石市のせいてつ記念病院は、4つの老健施設に囲まれ、入院患者さんはリピーターが多く、一度入院すると退院可能な状態になるまでに、長い期間を要しました。職場環境が変わり、入院患者さんの入れ替わりが早く、とまどいながら、電子カルテと格闘する毎日です。こんな私ですが、どうぞ宜しくお願いします。



小児科
副部長

田中 健太郎

今春から盛岡赤十字病院で勤務することになりました田中健太郎といます。平成10年に岩手医大を卒業し、様々な関連病院で修業させていただきました。盛岡での生活も6年ぶりとなります。地域医療に役立つようにがんばりますのでよろしくお願いします。



外科
副部長

馬場 祐 康

4月より外科の一員としてお世話になっております。県立病院、診療所勤務などで20年を経ましたが、今回、岩手医大外科若林剛教授のご高配により、赤十字病院に勤務させていただくことになりました。当院においては、外科、救急のほか、「緩和ケアの実践」を目標に考えておりましたが、今回、院長、副院長先生のおはからいにより、大阪高槻赤十字病院の緩和ケア病棟で研修の機会をいただき、5月より大阪におります。今後、緩和ケア病棟の実現に向け、院内皆様のご協力はもとより、地域の先生方のご理解とご指導を頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。



外科
副部長
小 川 雅 彰

岩手医大救急センターから4月より転勤となりました。盛岡日赤には12年ぶりの勤務となります。懐かしくも新鮮な毎日です。腹部消化器外科、胸部外科に加え救急医療、緩和医療でもお役に立ちたいと思います。基幹病院勤務の旨としてご開業の諸先生のリクエストには、快く迅速に応えたいと日々努力しております。至らない点をご指導賜ります様よろしくお願い申し上げます。＜出身地＞北海道 ＜趣味＞こども（3人）、読書、単車



外科
副部長
武 田 雄一郎

平成19年4月より外科に勤務しております。卒後8年目で、外科医として一人前になるよう日々努力していきます。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科
医師
菅 原 敦

平成19年4月より前任の三木治夫先生に代わって赴任致しました。出身は矢巾町、盛岡三高、弘前大学を卒業し医師として今年で4年目であります。医師としての自覚と責任を持ち、自己のスキルアップを怠らぬよう向上心を持ちつつ、誠意をもって診療に取り組んでいこうと思います。皆様のご指導、ご鞭撻の程宜しく願ひいたします。



皮膚科
副部長
大 原 晴 香

平成19年4月より皮膚科に勤務しております。秋田大学卒業後、同大学附属病院、市立秋田総合病院に勤務し、平成13年より岩手医科大学および岩手県立中央病院に勤務して参りました。今年で皮膚科医師として10年目になります。

当科は今年は二人体制で診療しております。そのため従来よりもより細やかで専門的な診療ができるようにと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



産婦人科
副部長
畑 山 寿 緒

産婦人科の畑山です。3月までは県立二戸病院に勤務していました。3年ぶりの盛岡で手術件数の多さに気持ちひきしめる思いです。責任を持って仕事に取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

〈出身〉盛岡市・岩手医科大学 〈長所〉さっぱりしているところ。寝起きがいいところ。
〈趣味〉ダイビング 〈短所〉人みしりするところ
〈家族〉夫一人



産婦人科
医師
佐 藤 健

当院に4月より数ヶ月の予定で嘱託医師としてお世話になっております。産婦人科の人手不足のお手伝いになればと思っており、主として午後外来の急患対応や当直に当たっております。宜しくお願い致します。



耳鼻咽喉科
副部長
福 田 宏 治

平成19年4月1日より盛岡日赤病院耳鼻咽喉科に勤務しております福田でございます。がんばります。どうぞ皆様よろしくお願いいたします。



内科
医師
秋 山 孝 輝

4月より内科研修という形でお世話になることになりました。研修医は終了したものの、今度は内科医としての礎を築くために日々修練していきたいと考えています。今後ともご指導の程宜しく願ひ致します。

出身：埼玉県 高校：東邦大学附属東邦高校 大学：岩手医科大学